

## 第5次原村総合計画策定 第1回ワークショップ

期 日：平成27年2月4日（水） 午後19時00分～20時30分  
場 所：原村役場 3階講堂

参加者：約80名

### ■第5次原村総合計画策定に向けた現状認識とアンケート結果報告

事務局より第5次総合計画及びアンケート調査について概要説明  
事務局（コンサル）より資料説明

#### 【出席者からの質問、意見】

- 資料の年次について、西暦と和暦を併記してほしい。
- 資料3ページ（人口動向資料）について長野県平均など表記してほしい。  
またアンケート結果について、どんな質問だったのか教えて欲しい。
- アンケート調査の回収率は一般的にどうか（多いのか、少ないのか）また、調査対象はどのように選んでいたのか。  
→郵送による配布、回収方法による調査では30～40%程度、原村の結果もその範囲に収まっている。  
→配布対象については、地区によって比率が偏らないよう配慮して実施した。
- 通勤通学流動図について、「通勤」「通学」が区別できるのであれば、分けてほしい。  
→整理して次回以降ワークショップに提示する。
- 総合計画の策定経過、ワークショップの資料などをホームページ等で公開してほしい。  
できれば、次回ワークショップの事前情報、資料などの公開もほしい。  
→アンケート結果については村ホームページに公開中。今後も載せられるものについてはホームページ等で公開していく予定。
- 総合計画は、原村の将来を考える重要な計画なので、自治区単位などきめ細かに広く住民意見を集めて反映できるように取り組んで欲しい。  
→村内何箇所かに分けて住民説明会を開き、総合計画に対する意見を出してもらう機会を設けたい。その他にもホームページ等を使って情報を提供し意見を聞いていきたい。
- 「日本で最も美しい村」連合への加盟要件を教えて欲しい。  
→人口規模のほか景観・環境・文化に関する地域資源が2つ以上ある事が条件となる。ただの自然風景だけでなくそこに暮らす人々が生活の中で作り上げてきた特徴のある景観や伝統・文化を守っていることなどが要件にあり、審査を経て認められることが加盟条件となる。

また加盟後も5年に一度の再審査があり、住民と行政が協力して地域資源を守り、更に発展させていく努力が必要になる。

□「第5次総合計画」の策定スケジュールを教えてください。

→ 次回以降ワークショップにて用意する。

□村づくりを考える上で、財政を加味して考える必要がある。村の財政状況がどうなのか教えてください。

→村の財政状況について、次回以降のワークショップに提示を考える。

□「第4次総合計画」の総括はどうなっているのか教えてください。

→第4次総合計画の各施策について行政評価推進本部による内部評価及びに総合計画審議会による外部評価を行っている。項目数が多いので重点施策等に内容を絞り結果の公表について準備する。

□どこの市町村にもあてはまるような汎用的な計画ではなく、原村らしい独自計画としてほしい。そのため、理念は高めに掲げ、実現にむけた要点を絞った取り組みを整理すべき

→どこに住んでもある程度統一したレベルの住民サービスを受けられるためにはどの市町村にも共通した全分野を網羅した計画が必要になる。その上で原村の地域性に応じた独自性のある施策を取り込んでいくことになると思う。

□10年計画でよいのか。将来、事情が変動するなかで、見直しが必要ではないか。

→基本理念は10年で考え、基本計画は前期、後期と5年で見直す予定。村が行う実施計画は3箇年計画を毎年見直している。

□「地方創生」について、原村ではどんな取り組みを考えているのか。

→国の方針では、平成27年度中に「地方版総合戦略」を作成し、取り組むことを進めている。原村市内で、どんな取り組みが必要か検討中であり、その方向性がまだまとまっていない。内容が決まり次第、住民にも公表していく予定

□アンケート結果の「行政サービス」にて、評価点とあるがどのように算出しているのか。

→回答の「良い方」に+点数5, 3点と加算、「否定意見」に-点(-5..)として合計し、回答数で除したものが評価点である。